

2022ワークキャンプ 15 11/11~12日 灯油ボイラー（中古）設置と大自然のひろば
広報活動

11月11日（金）快晴 日の出の山中湖に東から朝霧が流れてきて、富士山を隠す前に撮影。



気温は6℃、これから、河口湖、甲府（中央高速）を利用して、北杜市の友人宅を尋ねます。

その後、大自然のひろばを来年利用してくれそうな団体を運営している友人に会って、近況報告と大自然のひろばを活用したプログラムを説明してきました。山奥にあり、不便ですが、ダイナミックな自然体験活動を行うにはうってつけの場所で、宿泊出来るのでグループワークや木工などが出来ることもアピールしてきました。

12時過ぎに友人の施設を出発して、佐久に向かいます。大門街道を利用して「白樺湖」「女神湖」を通って、立科におりました。尾方さんの別荘に近いので、ちょっと寄り道してから、山荘に向かいました。山荘には17時着、秋も深まってきたので辺りは暗くなり、ライトがないと山荘の番号を合わせることが出来ませんでした。外気温は9℃、直ぐに薪ストーブを焚いて雨水タンクのポンプのスイッチを入れて水が出るようにしました。薪ストーブが燃えるまでは荷物の整理や掃除をして体を動かしていないと寒くて耐えられません。30分ほどで薪ストーブの周りが暖まり、軽く夕食を食べて今夜は早めに寝ることにしました。

11月12日（土） 6時起床 5℃ 快晴 室温15℃

外は霜が降りて、とても寒く太陽が高く昇らないと作業できません。薪ストーブを焚いて、書類の整理や段ボール箱を解体して、焚き付け用に短冊に切り薪置き場の上に保管しました。これが結構便利です。朝食はヨーグルトとブドウを少し食べました。洗顔をするために水道をひねりましたが水が出ません。雨水タンクを確認したところ、ポンプが動作している状態でした。



「これはもしかして？」どこかの水

栓が開いているのではと、確認したところ一番遠い水抜き用の水栓が開いていました。タンクの蓋を開けて中をのぞくと、給水用のパイプが見えています。雨水は底の方まで排出していました。これでは、今日の灯油ボイラー設置作業が出来ないので、どうしたものか？

今までにも失敗を積み重ねてきて、少し賢くなっていま



すのでこんなことでは、あきらめたくありません。そこで、松田の家から運んでいた予備用のポリタンク（水）を活用することにしました。雨水タンクは500L入ります。ポリタンクは8本約160Lあるので、今日の作業には充分は量の水を入れることが出来ました。

9時ごろに尾方さん到着。前回。試した古いボイラーをもう一度試しましたが、やはり燃焼しません。



前回と同じくエラーコード「E1」が点灯しました。3回ほど試しましたが、だめ

でした。長府製のボイラーを解体して、尾方家からきたノーリツ製のボイラーを設置。給油管（銅）が上手に曲がらなくてつなぐのに苦労しましたが、金槌などで変形させ何とかつなぎました。水管は準備していたフレキシブルホースでつないだので楽に設置することが出来ました。水道管・灯油管・電源を入れて、蛇口を開けるとボイラー



が燃焼、30秒ほどで蛇口からお湯が出ました。

台所・洗面所・風呂場の3箇所でお湯が使えるようになりました。

シャワーやお風呂にも入れるようになります。取り外したボイラーからは止水栓やナットなどの部品を取って、何か修理が必用な場合に備えます。



尾方さんの知識と技術は素晴らしい、何でも作るし難しい作業を考えながら何とかしてしまいます。お疲れ様でした。

コロナ感染の影響で3年間活動が出来ない状況でしたが、「大自然のひろば」の整備はコツコツと進めることが出来ました。今年は15回のワークキャンプを行い、来月12月中旬には「冬季閉鎖」となります。来年度はこの施設を多くの方に活用していただきたいと希望しています。

宿泊研修、キャンプ、音楽グループの合宿、グリーンウッドワーク、ブッシュクラフト、竹細工のワークショップなどなど理事の皆さまも利用に向けて計画してください。

次回は11月23日から25日の予定です。